

特定非営利活動法人 NPO政策研究所

1 2017年度（平成29年度）事業報告書

2018年度定時総会（2018年5月26日）にて承認
所轄官庁（大阪市）へ届け出済み（2018年5月29日）

2017年度事業の実施状況

1. 事業期間 2017年4月1日～2018年3月31日

2. 概況

2017年度は複数の自治体からの受託事業を中心に事業を実施し、財政的には単年度ベースで黒字となった。

調査研究事業としては、《持続可能な社会の実現》に関わる受託事業となった。奈良県吉野町からは、地区単位での防災計画策定を支援する「平成29年度吉野町地区防災計画策定支援業務」を受託したが、新規地区ではなく昨年度計画を策定した中庄、中竜門地区の地区防災計画のフォローアップ及び今年度活動の報告会を実施した。また、併せ地域担当職員（リーダー層）が地区に入りワークショップを企画・実施できるスキルを研修するとともに、防災士を取得した町民・職員の横のつながり形成のための研修、さらに、自治協議会設立へ向けての職員の意識向上を目的とする全職員対象の研修会を実施した。町民の防災意識啓発と防災行動の周知のため、防災ブックレット（本編、概要版）を作成した。

奈良県生駒市からの受託事業として、南小・南第二小校区におけるまちづくりの方向を考えるワークショップを3回開催し、まちづくりの方向（素案）を作成した。同時期に、壱分校区においても単発のワークショップで、まちづくりの方向を取りまとめた。

今年度も、理事長・専務理事をはじめとして、自治体の各種審議会・委員会委員や各種研修会・講座等の講師活動を通して、研究所の事業の柱である、「持続可能な地域づくり」「新しい地域自治システムの構築」「市民参画、NPOと行政の協働」の推進を支援した。

ネットワーキング活動としては、自治体学会、コミュニティ政策学会、文化政策学会等、さらに兵庫県内のNPOのネットワークであるHYOGON等に参加した。

市民自治講座は、当法人の団体会員である大阪市政調査会と実行委員会を組織し、中川幾郎帝塚山大学名誉教授を講師に「これからの文化政策」と題して第Ⅲ期を開催した。第Ⅰ期、第Ⅱ期の記録をブックレットにまとめ、刊行した。

広報活動として、ホームページにて随時情報を発信した。

3. 事業について

(受託事業)

委託者	業務名	受託金額 (円)
秋田県酒田市	酒田市芸術文化振興計画策定に係るアンケート分析	149,040
奈良県吉野町	平成 29 年度吉野町地区防災計画策定支援業務	3,445,200
奈良県生駒市	あいさつタウン・南ネットワークのまちづくりの方向を考えるワークショップ委託業務	464,400
計		4,058,640

(1) 「酒田市芸術文化振興計画策定に係るアンケート分析」(山形県酒田市より受託：159千円)

① 業務の目的

本アンケート調査は、山形県酒田市芸術文化振興計画（仮称）策定のために市民の芸術文化に関する実態と意向を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施されたもので、この集計結果を内閣府「文化に関する世論調査」（平成 28 年 9 月調査）、（平成 21 年 11 月調査）、山形県「山形県文化振興プラン」（平成 28 年 3 月）掲載の山形県の文化芸術に対する県民意識（平成 26 年度県政アンケート調査の結果）等を参照しながら分析した。

本業務は、定款第 4 条（非営利活動の種類）の(4)「文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」に該当する。

② 業務の内容

アンケート調査項目は、以下のとおりである。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 基本事項（住所、年代、性別、職業） ② 芸術文化活動のしやすさ ③ 鑑賞機会の充実 ④ 芸術文化と酒田の活力 ⑤ 酒田市の文化資源 ⑥ 文化施設に対する関心度（希望ホール、土門拳記念館、酒田市美術館、本間美術館他） ⑦ 子どもの芸術文化に触れる機会の充実 ⑧ 社会包摂について ⑨ 芸術文化事業の希望、芸術文化活動への参加のしやすさ |
|--|

分析の一部を採録しておく（上記⑨の部分）。

問 どのようにすれば芸術文化活動に参加しやすくなりますか。

- 「どのようにすれば芸術文化活動に参加しやすくなるか」という問いに対し、多くが「鑑賞」等の受け身の参加を想定した意見（要求、要望）であった。自ら主体的に芸術文化活動を行う、あるいはサークルや団体に参加するという意見はほとんどなかった。ただ、前問にもあるような、「参加型」の企画があれば参加したいという意見は若い世代にあった。（意見数 198）

○「参加しやすくなる条件」として出た主な意見を対象にその背景と対応の方向を以下に記す。

参加しやすくなる条件	背景	対応の方向（一例）
質の高い公演（展示）の鑑賞	酒田での公演自体が少ない 市民文化団体の研鑽の不足	・庄内地方全体で連携や役割分担を考える ・評価し合う習慣をつくる
無料か低い料金設定	子育て世代や高齢者は経済的余裕がない 低料金で敷居を低くする（お試し） リピーターを増やす	・子ども対象の活動には公的支援を行う。企業との連携を模索する ・“入門的”イベントを企画する ・他施設との共通券を開発する
交通手段（含交通費、駐車場）	公共交通の整備が十分でない 高齢になると車の運転が負担	・総合的な交通体系を整備する ・乗り合いなどの仕組みをつくる
障がい者、高齢者、介護	施設がバリアフリーではない 障害があっても楽しめる工夫が足りない 介護等で外出が困難	・公共的施設のバリアフリー化 ・多様な受け取り方ができる表現を模索する ・社会包摂の視点から、アウトリーチ等を試みる
情報発信	イベント等の情報発信が不足している “楽しさ”が伝えきれていない	・ポータルサイトの開設 ・情報発信にデザイナー等の専門家の参加を求める

(2) 「平成 29 年度吉野町地区防災計画策定支援業務」（奈良県吉野町より受託：3,445 千円）

① 業務の目的

吉野町では、吉野町内 8 地区を単位とする「地区防災計画」を、平成 28 年度に中荘地区と中竜門地区で策定した。両地区では、地区防災計画にもとづき、これを発展させ、具体的な組織や行動へとつなぐべく、地区の防災協議会あるいは防災福祉部会等の主体を設置し、対応に乗り出している。

本業務では、中荘・中竜門両地区の防災主体の会合に出席し、必要に応じて進行補助やアドバイスをを行い、それぞれの活動内容の充実を支援した。また、地区防災計画を中心として住民及び行政職員の防災に対する意識の涵養、スキルの獲得等を目的とする研修を行い、さらに、住民一人ひとりができること・考えるべきこと、地域でやるべきことをまとめた「ブックレット」（本編、概要版）を作成した。

これらを通して、長期的には地域自治協議会形成の気運を高めることもねらいとした。

本業務は、定款第 4 条（非営利活動の種類）の(3)「まちづくりの推進を図る活動」及び(7)「地域安全活動」に該当する。

② 業務の内容

(1) 中荘地区（防災協議会）、中竜門地区（防災福祉部会）のフォローアップ

1) 目的

「中荘防災協議会」及び「中竜門防災福祉部会」の地区防災計画の充実・実践及び周知の活動を支援し、自治協議会形成への気運を醸成した。

2) 内容

① 防災協議会、防災福祉部会に出席し、必要なアドバイスをを行った

- ② 協議会、部会の記録メモを作成した
- ③ 視察先の選定へのアドバイスを行った
(2017年9/13、10/4、11/8、2018年1/24)



- (2) 住民リーダー（防災士等）への研修とネットワークづくり支援
 - 1) 目的

防災士を取得した住民及び行政職員に対するフォローとして研修を行い、ネットワークづくりのきっかけを提供した。
 - 2) 内容

防災・福祉のまちづくり実践セミナーを実施した。
2018年2月27日（火）19:00～ 中央公民館研修室
講師：相川康子（NPO政策研究所）、NPO政策研究所スタッフ
- (3) 地域担当職員の研修
 - 1) 目的

地域担当職員が地域へ入るに当たって求められるスキルを、ワークショップの企画・実践を通して行った。また、全職員に対して、町が進めている（旧）小学校区単位の地域自治組織（吉野町まちづくり基本条例でいうところの「自治協議会」）形成への理解を促進するための研修を行った。
 - 2) 内容
 - ① 地区担当職員に対する住民ワークショップ支援のスキル研修を行った。
2018年1月22日（月）13:30～ 中央公民館研修室
講師：NPO政策研究所（直田、相川、田中、奥野）
 - ② 全職員対象の、吉野町地域自治システムの研修会を実施した。
2018年2月14日（水）10:30～、13:30～ 中央公民館研修室
講師：中川幾郎氏（帝塚山大学名誉教授、前吉野町総合計画審議会会長）



(4) 防災活動の報告会

1) 目的

地区防災計画を策定している中庄地区、中竜門地区の防災関係者の今年度の活動成果を報告し、共有するとともに、防災先進地から学識者を招き、防災・まちづくりをさまざまな被災地の経験を基に講義していただいた。

2) 内容

防災報告会・講演会開催支援

平成30年3月15日(木) 18:00～ 中央公民館研修室

講師: 諸橋和行氏(公益社団法人中越防災安全推進機構地域防災力センター長)

進行: 相川康子(NPO政策研究所専務理事)

参加: 中庄地区防災協議会メンバー、中竜門防災・福祉部会メンバー、他



(5) 町民の防災意識向上

1) 目的

町民が災害時どのように対処したらいいのか、減災、災後の対応等を考えていただくきっかけとなる「吉野町防災ブックレット」およびその「概要版」の原稿を作成した。

2) 内容

① 防災ブックレットの作成(原稿): A4判 32頁 関係者配布用

② 防災パンフレットの作成（原稿）：A3判両面（A4判で4頁） 全世帯配布用



(3) 「あいさつタウン・南ネットワークのまちづくりの方向を考えるワークショップ委託業務」（奈良県生駒市より受託：464千円）

① 業務の目的

本業務は、奈良県生駒市の南小・南第二小校区において、地域を将来にわたって住み続けたい・住み続けられるまちにしていけるために、当地区における「まちづくりの方向を考えるワークショップ」を実施し、住民が地域づくりの目標を考えることを目的とした。

そのため、参加者自身の将来の生き方から始め、この地域の地域資源を再確認し、また地域課題を洗い出し、その対処について検討し、さらにこの地域の地域力をSWOT分析により明らかにした。ワークショップの結果を、この地域の『まちづくりの方向（たたき台）』としてとりまとめ、さらに議論を深め『まちづくりの方向（案）』とした。

本業務は、定款第4条（非営利活動の種類）の(3)「まちづくりの推進を図る活動」に該当する。

② 業務の内容

ワークショップ実施概要は以下のとおりである。

ワークショップの実施概要

	日時	内容
第1回 (36名)	2月9日(金) 9:30~11:30	<ul style="list-style-type: none"> ● 「私の未来の暮らし」を考えた ● この地域についての情報（人口等）を共有した ● この地域の地域資源・魅力を探した ● この地域の地域課題を浮き彫りにした
第2回 (30名)	2月22日 (木) 13:00~15:00	<ul style="list-style-type: none"> ● この地域を、強み、弱さ、機会、脅威から分析した（SWOT分析） ● SWOT分析から、この地域のまちづくりの方向を考えた
第3回 (40名)	3月14日 (水) 10:00~12:20	<ul style="list-style-type: none"> ● この地域の「まちづくりの方向（骨格）」を考えた ● たたき台を基に意見交換を実施した ● 「まちづくりの方向（骨格）」及び「まちづくりの担い手」を考えた。

地域資源、課題、ニーズ、地域力（SEWOT分析による）等から、この地域の“まちづくりのテーマ”を下図のように設定し、主体別（住民、行政、協働）に課題解決やまちづくりの方向を浮き上がらせた。一部を例示する。

この地域の“まちづくりのテーマ”

- 安心、安全で美しいまちづくり
- 高齢社会に備える
- 「子どもが育つ」を支援する
- 生活の彩り、楽しさ、利便性
- 内外との交流
- 地域資源を活かす
- 地域の絆、コミュニティの再構築
- みんなのまちづくり（人材の発掘と活躍の場、若者の参加）

この地域の“まちづくりの方向”

- 安心、安全で美しい(住民の誇り)まちづくりをすすめる
 - バリアフリーのまちづくり(駅等の公共交通機関、公共施設およびまち全体)
 - 南生駒駅
 - 基本構想の策定(住民参加)
 - シームレスな移動
 - 道路標示
 - 道路の安全確保(歩道の設置、拡幅、街灯の整備等)
 - ユウキ音楽教室前に信号をつける
 - 災害の危険性を摘む(災害危険箇所、避難場所の確認、自主防災組織形成)
 - 美しい町並を保全し、観光に活用する(暗峠、伊勢街道、旧村集落) ●
 - 道路の安全性向上、渋滞の解消、騒音の低減、ゴミのポイ捨て防止 ●

■ 凡例：「まちづくりの方向」の実行主体

- 地域でやるもの
- 地域と行政が協働でやるもの
- 優先順位が高いもの
- 行政がやるもの
- その他（企業等）がやるもの



(自主事業)

■市民自治講座について

第Ⅲ期 これからの文化政策 (全3回) 2017年12月～2018年3月

講師 中川 幾郎 氏 帝塚山大学名誉教授 (文化政策・地方自治論)
文化政策学会初代会長

会場: ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター) セミナー室

- 第1回 2017年12月16日(土) なぜ今、文化政策か?
 - 第2回 2018年2月3日(土) 文化の「まちづくり」とその担い手を考える
 - 第3回 2018年3月17日(土) 文化政策をめぐる諸問題と論点を明確にする
- 各回40名強の参加があった。記録は後日冊子として刊行予定。

■地域自治システム形成、市民公益活動支援について

(各種委員/講演/研修等一覧)

類型	理事長	専務理事	理事
	関係自治体・団体等		
自治/まちづくり基本条例	伊丹市		
行財政改革、行政評価	吉野町	神戸市	
総合計画	王寺町		
地域自治・住民自治	伊丹市、西脇市、豊中市、 奈良県自治会連合会	神戸市、大阪市	
地域づくり、まちづくり		兵庫県、東播磨県民局、丹波の森協会	
参画・協働	伊丹市、守口市、豊中市、 西宮市、西脇市、生駒市	川西市	
市民活動助成等	西脇市	神戸市、しみん基金神戸	
男女共同参画		各地	
災害・防災、復興		消防庁、大阪市、摂津市、 宝塚市	
文化振興	滋賀県、舞鶴市		
指定管理者選定、委託事業者選定等	大阪市住吉区、生野区、東成区、淀川区、西区	岸和田市	
生涯学習	阪神シニアカレッジ		

■出版・広報事業

○市民自治講座第Ⅰ期及び第Ⅱ期の講演録を、大阪市政調査会の協力で、“市民自治ブックレット”として刊行した。

●第Ⅰ期 『民主主義再考ー原理的に考える』岡本仁宏 B5判92頁 頒価500円
2016年度予算で作成したが、刊行は2017年6月になった。

●第Ⅱ期 『トクヴィルと《平等》の政治力学』富永茂樹 B5判64頁 頒価500円
共に200部作成

○ホームページ上で、随時情報発信を行った。

4. 組織運営

(総会、理事会の開催)

○定時総会 (第17回) 2017年5月27日(土) 15:00～17:00

於 CANVAS 谷町

- ・ 議案 2016 年度事業報告・決算議決承認
定款変更の審議
役員を選任
- ・ 報告 2017 年度事業計画・収支予算

- 理事会 2017 年度第 1 回（通算第 57 回）：2017 年 5 月 27 日（事業・会計報告/事業計画・予算）
- 2017 年度第 2 回（通算第 58 回）：2017 年 7 月 12 日（理事長、専務理事の選任）
- 2017 年度第 3 回（通算第 59 回）：2017 年 3 月 29 日（事業報告、事業計画・予算、短期借入、総会、定款変更）

以上